

果樹カメムシ類の発生が早期に増加しています。

今年度は県内全域で果樹カメムシ類の越冬量が平年に比べて多いことが当所の調査で分かっています。5月上旬から予察灯への誘殺が多数確認され始め、果樹カメムシ類の活動がこれまでに比べて活発になっています。今後は果樹園への飛来が平年より多くなると予想されるため、十分注意しましょう。

1 現在の発生状況

- (1) 呉市安浦町における予察灯への5月第1半旬から5月第2半旬までのツヤアオカメムシ誘殺数は**10頭**（平年0.6頭、図1）で、**過去10年で最多**でした。
- (2) 5月第2半旬に呉市安浦町、尾道市御調町の予察灯へ、チャバネアオカメムシの誘殺が確認されました。
- (3) 令和7年12月～令和8年1月に行ったチャバネアオカメムシ越冬量調査の結果、捕獲地点率は**50.0%**（平年19.9%、図2）、平均虫数は**1.22頭/地点**（平年0.31頭、図3）で、いずれも過去10年間で最多でした。

2 防除上の注意

- (1) 果樹カメムシ類（図4）は移動性が高く、飛来は園地間差が大きいため、夕方または早朝にほ場周辺も含めて巡回し、ほ場への飛来が認められた場合には、早急に防除してください。なお、果樹カメムシ類は夜行性であるため、薬剤防除の時間帯としては、夕方が最も効果的です。
- (2) 有袋栽培では、袋掛け作業を早めを実施します。
- (3) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。
- (4) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）」を参照してください。

3 今後の発生量予測

最新の調査結果はこちらからご確認ください。

→<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>

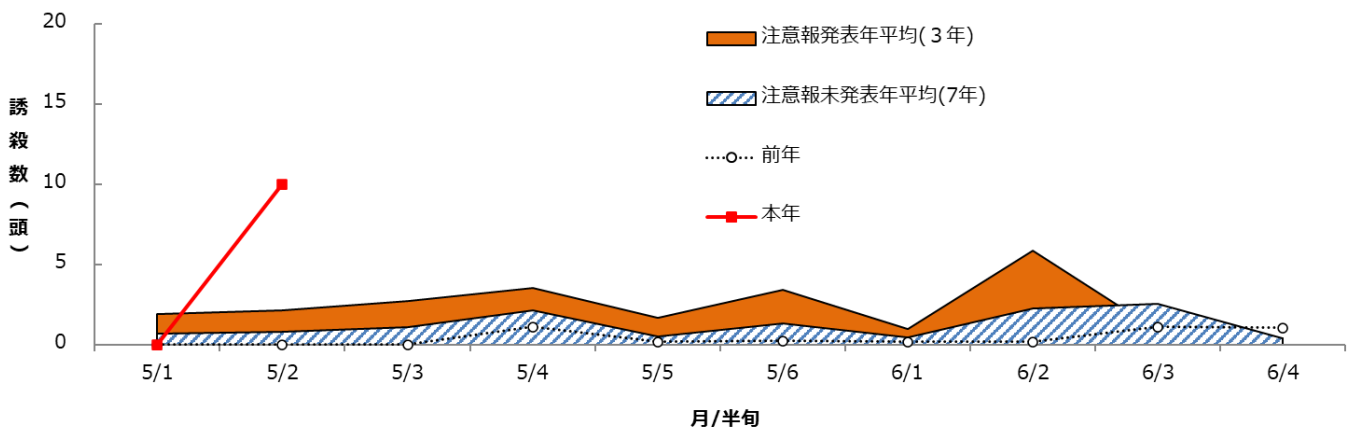


図1 予察灯へのツヤアオカメムシの誘殺数

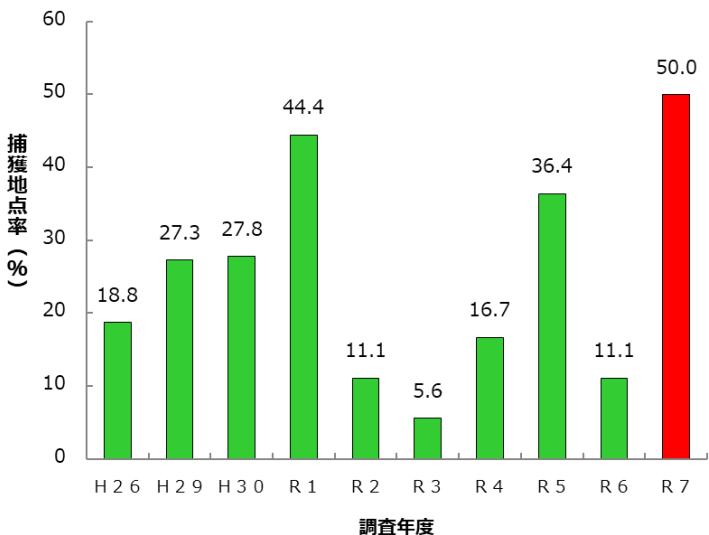


図2 越冬量調査におけるチャバネアオカメムシの捕獲地点率

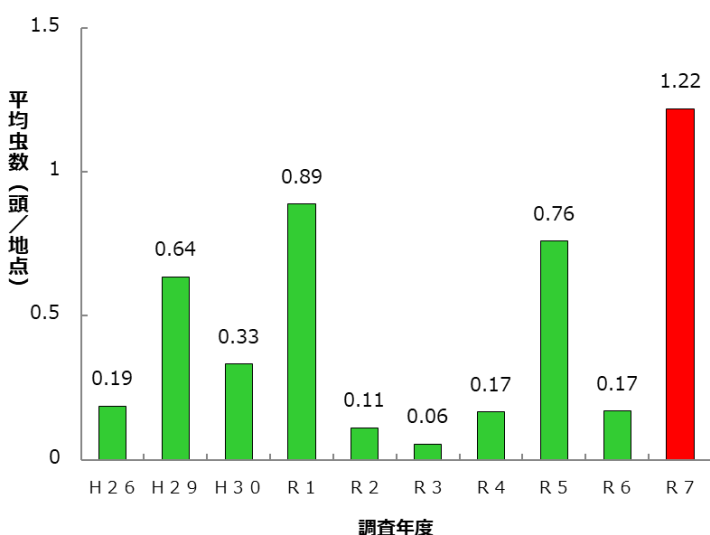


図3 越冬量調査におけるチャバネアオカメムシの平均虫数

※H27、H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。



図4 果樹カメムシ類 (左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)



図5 果樹カメムシ類による被害 (なし)

●PCでアクセス

ひろしま病害虫情報

検索

掲載アドレス↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>

●スマホでアクセス

ひろしま病害虫情報

二次元コードはこちら →



※次回の予報発表は令和8年6月中旬ごろです。



お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-420-9662 (直通)